

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	令和6年度みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ管理運営業務委託		
事業の実施者	団体等	公益財団法人 横浜市国際交流協会	
	行政	横浜市南区地域振興課	
事業の目的	市民活動、生涯学習活動及びボランティア活動（以下「市民公益活動等」という。）並びに外国人市民、外国人コミュニティ及び国際交流機関の支援（以下「多文化共生事業等」という。）を通して、市民の理解と参画のもとに、市民力の向上と豊かな地域、異なる文化や生活習慣への理解を深める交流の拠点づくりを図る。		
事業の内容	ア ラウンジの管理運営に関すること イ ラウンジの事業に関すること ウ 事業改善に関すること エ その他ラウンジの管理運営等にあたり必要となる事務事業に関すること		
役割及び責任 分担等	協働契約書第8条の規定に基づき、次に掲げる役割を分担し、その役割についてそれぞれの責任で事業を行う。		
	事業項目	受託者の役割	委託者の役割
	ラウンジの管理 運営に関するこ と ラウンジ事業に 関すること	1 設備の管理 2 軽微な維持修繕 1 市民公益活動等のネット ワーク化 2 市民公益活動等の相談 対応 3 市民公益活動等に関する 情報提供・発信 4 市民公益活動等に関する 活動の場の提供 5 地域人材登録事業の実 施 6 区民利用施設等との連 携による活動支援 7 自主企画事業の企画・実 施	1 設備の提供 2 設備の管理に関する調 整及び協力 1 市民公益活動等のネット ワーク化についての調 整及び協力 2 市民公益活動等の相談 対応についての調整及び 協力 3 市民公益活動等に関する 情報提供・発信について の調整及び協力 4 市民公益活動等に関する 活動の場の提供につい ての調整及び協力 5 地域人材登録事業の実 施についての調整及び協 力 6 区民利用施設等との連 携による活動支援につい ての調整及び協力 7 自主企画事業の企画・実 施についての調整及び協

		8 その他市民公益活動等に関する企画及び実施・活動支援 9 外国人市民に対する相談対応 10 外国人市民に対する相談対応情報提供・発信 11 外国人支援に関わる人材育成事業の実施 12 外国人市民との交流事業 13 外国人児童・生徒に対する支援 14 その他多文化共生事業等に関する企画及び実施・活動支援	力 8 その他市民公益活動に関する企画及び実施・活動支援についての調整及び協力 9 外国人市民に対する相談対応についての調整及び協力 10 外国人市民に対する相談対応情報提供・発信についての調整及び協力 11 外国人支援に関わる人材育成事業の実施についての調整及び協力 12 外国人市民との交流事業についての調整及び協力 13 外国人児童・生徒に対する支援についての調整及び協力 14 その他多文化共生事業等に関する企画及び実施・活動支援についての調整及び協力
	事業改善に関すること	1 利用者のニーズ把握とサービス向上 2 運営事業団体として必要になる事業の検証	1 利用者のニーズ把握とサービス向上についての調整及び協力 2 横浜市として必要になる事業の検証
	その他ラウンジの管理運営等にあたり必要となる事務事業に関すること	1 利用統計 2 運営事業団体として必要となる情報公開及び説明責任に関する業務 3 ラウンジの管理運営及び市民公益活動等並びに多文化共生事業等の活性化等に関する調査研究 4 その他、区が行う市民公益活動等並びに多文化共生事業等に関する施策・事業への協力	1 利用統計についての調整及び協力 2 横浜市として必要になる情報公開及び説明責任に関する業務 3 ラウンジの管理運営及び市民公益活動等並びに多文化共生事業等の活性化等に関する調査研究についての調整及び協力 4 横浜市役所内部の連絡調整
実施期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		

記入日	令和 7 年 4 月 11 日
記入者	[団体等] ・団体等名： 公益財団法人横浜市国際交流協会 ・記入責任者 館長 氏 名： 日下 晋輔 連絡先： 045-232-9544
	[行政] 横浜市 ・部署名： 南区地域振興課 ・記入責任者 地域振興課長 氏 名： 中野 由紀子 連絡先： 045-341-1238

2 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

事業の計画づくり (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 国際交流ラウンジ、活動支援センター定例会のほか、必要に応じ打合せを行い、事業の目的や狙いなどを計画段階から共有しながら進めることができた。
【今後改善が必要と思われること】 ・客観的な指標に基づいた具体的な目標設定を行う。 ・コーディネーターのスキル向上のための育成計画
事業実施 (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 必要に応じ区も事業に参加するなどし、報告書と併せて実施状況の確認を行った。 また、実施にあたり生じた課題を共有し、相互確認しながら進めることができた。 施設間連携事業については、全体交流会を実施し各施設が連携しやすい顔の見える関係づくりを続けている。 実施にあたっては、年度前半に実施した研修に倣い、計画・実施・評価・振り返りを逐一確認しながら実施することができた。他事業においてもそのサイクルを実践し、継続していく。 市民活動支援と多文化共生の一方に偏ることなく、バランスを取りながら活用する意識付けができた。
【今後改善が必要と思われること】 ニーズに合わせた事業の見直しは随時行うべきと考えるが、契約書や仕様書、条例や規程類を確認し、見直しを行う場合は当初計画のどの段階をどのように変更するのかを明確にしながら進める必要がある。 引続き様々な課題があった時に相談・協力し合える関係性を維持していく。 市民活動支援センターと国際交流ラウンジ事業のバランスを取り、事業計画を作成する。市民活動支援事業については、アウトリーチによる地域課題の把握と新規登録した団体の活動を進めて行くためのコーディネート力を強化する。
事業の成果 区)(協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
外国につながる青少年ボランティアプログラム参加者がボランティア活動を始めるなど、地域活動参加に繋げることができた。 事業実施後は参加者人数やアンケート結果等を共有し、振り返りやフィードバックを行い、成果や改善点を次の事業に活かすサイクルを作る。 施設間連携事業では、区内関係施設との連携を一層強化するために「施設を知り、お互いを知る。顔の

見える関係づくりの場」として研修を行い、各施設の専門性や強みを生かした個別連携に発展させることができた。また、外国人集住地区において、ラウンジの窓口相談に訪れた方や事業に参加した外国人を町内会加入に繋げた。

日本語学習事業では、日本語教室連絡会の開催数を増やすことで日々別々に活動している団体の連携強化を図り、協働イベントの創出に繋げることができた。

自由記入欄

市民活動支援センター、国際交流ラウンジともに担い手の発掘・育成、地域課題の解決、地域との連携を目指して事業を展開していく。

職員・コーディネーターの人材育成にあたっては、研修など市と団体の持つリソースを十分に活用する。引き続き市民活動支援センターと国際交流ラウンジの2つの機能を併せ持つ施設として、双方の人的資源を事業に有効活用していく。